

ZESTIA 様より原動機部へ

「更なる飛躍へ」

部品を提供

2025年(令和7年) 5月10日 土曜日 南 信 州 新 聞

「更なる飛躍へ」部品を提供

ZESTIA O長高原動機部に

飯田市藤江にある
精密機械設計製造業
「ZESTIA」(熊
谷雄一社長)が8日、
飯田OIDE長姫高
校原動機部を訪れ、
競技用電気自動車



前輪シャフトを贈った熊谷社長(左)

の前輪シャフトを呈
供した。Engineer
ススカチャレンジ
で12連覇を達成する
など、全国大会で優
秀な成績を残して
いる同部に対し、さ
らなる飛躍を期待し

た。
同社は今年度と前
から部品を提供。送
られる図面で部品を
製造している。今回
提供した部品は、今
年3月に部員2人が
同社のインターンシ

して3行アストやセ
ットアップなどに江
力する。

ップに参加した際、
部品を加工するプロ
グラムの製作体験や
実際の加工を体験し
て製作したものとい
う。
日程の変更もあり、
今シーズンの大会
の多くは二学期中
に行われる。部員ら
は新たな部品を得
て、与えられたマシ
ンの調整期間を活用

贈呈式には熊谷社
長と営業企画・営業
グループリーダーの
牛山和哉さんが訪
れ、久保田田太部長
に前輪シャフトを手
渡した。熊谷社長は
「伝統ある部で、私
もかつて所属してい
た。こうして携われ
ることは光栄であり
誇りに思う。大会で
良い走りを見せてほ
しい」と激励した。
久保田部長は「前
輪シャフトは非常に
大切な部品。応援を
糧に、優勝するため
に努力し続けたい」
と意気込みを語っ
た。
1年生8人が入部
し、2年生6人、3
年生6人で本年度は
活動する。「セテギ
GP」(11月9日、新

木更野新町)、「ス
スカチャレン
ジ」(12月21日、三
重県鈴鹿市)のほ
か、エコチャレンジ
(大阪府)、エコカ
ーレース(愛知県)へ
の出場を予定してい
る。

電子機械工学科 3 年生

学びの成果 マシンに乗せて

マイコンカーグランプリ開催

2025年(令和7年) 5月15日 木曜日

南 信 州 新 聞

OIDE長姫高

学びの成果 マシンに乗せて

飯田OIDE長姫

高校電子機械工学科
3年生38人によるマ
イコンカーグラン
プリ(MC-GP)が

14日、同校であった。機械技
術や電気電子技術、制御(情
報)技術をバランスよく学ぶ
系統的な学習の成果を発表す
る機会で、生徒たちは学びの
成果を乗せたオリジナルマシ
ンで最速タイムを目指した。
同科独自の活動として20
19年に創設。今回が7回目
で、1、2年生や保護者らが
見守った。

カーブや直角、鋭角などの
特徴を備えた白線のライン上
にマシンを走らせ、ゴールま
でのタイムを競う。生徒たち
はマシンに使用するセンサ
ーやマイコンボード基板の設
計、3D-CADを用いた車
体の設計を手掛けた。

大会に向けてはラインを正
確に読み、より高速で走れる
ように、それぞれがプログラ
ムを改良。速さを重視し軽量
化を目指したものの、安定
性を重視した大型のものま
で、工夫を凝らしたさまさま
なマシンが登場した。
生徒自身が運営するものこ
の大会の特徴。動画や参加選

電子機械
工 学 科

3 年生がマイコンカーGP開催



熱戦を繰り広げた第7回MC-GP

手のインタビュを交えて
大会を盛り上げ、難所の鋭
角コーナーをクリアした
り、好タイムが生まれると
会場のボルテージは最高潮
に達した。

予選タイムの上位8人に
よる決勝トーナメントで上
位3人を表彰したほか、ベ
ストタイム賞や投票による
ベストデザイン賞などを贈
った。

実行委員長を務めた3年
の水島透愛さん(17)は
「1年のころから幅広い技
術や知識を学んできた。仲
間と共に取り組んできた成
果を披露できた」とし、下
級生に向けて「来年度以降
の参考にしてほしい」と呼
び掛けていた。

飯田OIDE長姫
高校(宮澤直哉校
長)の電気電子工
科3年生39人は27
日、ロボット製作・
制御の学習の集大成
として「ライントレ
ースロボット大会」
を開いた。2年生や
保護者らが見守る



電気電子工学科のライントレースロボット大会

OIDE 長姫高

ロボット製作・制御の集大成

ライントレースロボット大会開く

中、調整を重ねたロ
ボットをコース上に
走らせて技術を競っ
た。

大会は今年で15回
目。ライントレース

ロボットは、自律移
動型ロボットで、P
WM制御という技術
でコースの白線を3
つのセンサーで読み
取り、反応に応じて
左右のモーター(タ
イヤ)の動かし方を
制御する。ジグザグ
や交差など多種多様
なコースを走行す
る。

同科は1年次にロ
ボットへ搭載する充
電池の電源装置
やマイコンボードを

自作。2年次には車
体製作とマイコンブ
ログプログラミングを専門
教育の一環として取
り組み、センサーで
取得した情報をデー
タ処理してモーター
を制御する方法を学
んだ。電子部品を実
装し、1年間かけて
1人1台を製作し
た。

大会の企画運営も
自分たちで手掛け
た。2年の時に見学
した際の課題や改善
点を洗い出して検討
し、運営に生かした。
予選では各生徒が
2回ずつコースを走
行させ、平均タイム
が速かった上位8人
が決勝に進出。決勝
はトーナメント方式
で競った。今年から
観客にマシンのデザ
イン性も楽しんでも

らえるよう工夫し
た。

ロボット製作・制御の集大成
ライントレース大会開催
電気電子工学科 3 年生